



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
(鉄電) 千葉 2935・2939 番
電話 43 (224860) 番

No.

11・8へ闘う労働組合の 全国ネットワークを

11・8全国労働者総決起集会に全力で結集しよう。

今年11月集会は、動労千葉のみならず、全日本建設運輸連帯労組関西生コン支部、全国金属機械労働組合港合同の仲間たちと三者の呼びかけで、闘う労働組合の全国ネットワークをめざす全国労働者集会として開催されることが決まった。

動労千葉が発しつづけた「労働運動の新しい潮流を創りあげよう」という呼びかけは、今大きな飛躍のときを迎えようとしている。11・8集会の成功を勝ちとろう。勤務以外全力結集を。

ついにアメリカが

ついにアメリカのバブルが本格的にはじけようとしている。ドルの信用が失墜し始め、世界の経済は、まさにコントロールドルがきかない状態だ。ドルが世界の貿易・通商の基軸通貨であるがゆえに、これは世界経済にとって恐るべき事態である。

ドルによる統合力を失った世界経済は否応なく激しく収縮して、世界恐慌への止め金がいっぺんに外れかねない状況だ。また危機を背景に戦争への危機が一挙に現実化しようとしている。

「虐殺リストラ」!

また、深刻な危機を背景に、労働者への攻撃も激しさを増している。週刊誌では、「虐殺リストラ」などというエキセントリックな見出しが踊っている。「これから5人に一人が新たにリストラされ、その内再就職で

きるの20人に一人になるであろう」というのだ。

労基法の抜本的な改悪法案が、国会の賛賛状況のなかでほとんど議論もなしに国会を通過し、労働者派遣法の改悪案も上程されている。また、給付水準の引下を明記した年金審議会の報告書が提出された。保険料が支払えなくて、国民健康保険証を取り上げられた世帯が、昨年一年間で21万世帯、45万人にのぼっている。

飛躍のときがきた

われわれは、これまでに経験したことがない歴史の大きな転換点にたっている。

われわれに今問われていることは、賃上げどころか賃下げ・倒産・首切り、一切の権利剥脱が問題となるような時代のなかで、この状況に向って果敢に闘いを展開し、例えば直接の成果がなくとも、労働者の団結が強まり、怒りの声の結集し日々団結の輪を広げ、現在の体制そのものに挑みかかってゆくような新たな労働運動のあり方を確立することだ。また、資本と労働者の関係は非和解的だということに絶対にあいまいにせず、連合や全労連など、あらゆる勢力が体制擁護派に転落してしまっている状況を、自らの闘いをもって打破することだ。

怒りの声は満ち始めている。11・8集会は、間違いなく現在の労働運動の状況をうち破る起爆剤になるであろう。全力で集会の成功をかちとろう。

紹介 11・8全国集会 呼びかけ労組

全金港合同の闘い

**団結こそ命、
闘争こそ力**

全金港合同は、大阪港区の工業地帯のなかで、総評労の歴史に残る原則的な地域労働運動を展開しつづける労働組合だ。

最も有名な闘いは、71年の細川鉄鋼闘争。暴力ガードマンと対決した八六三日の闘いで、国会におけるガードマン規制法、大阪府との間で不当労働行為企業に対する公共事業の発注停止を確認させている。

また、幾多の未組織労働者の

全日建関西生コンの闘い

組織化と組合結成に対してかけられた偽装解散・工場閉鎖・自己破産など攻撃と対決し、工場の自主管理をはじめ、労働運動の新たな地平を築きあげている。

「闘争をもって団結を求めれば即ち団結在り、妥協をもって団結求めれば即ち団結亡び」を合言葉に、地域内多数派を實踐する運動を展開している。

全日建関西生コンの闘い

他人の痛みは わが痛み

全日建設関西生コン支部は、全日建五千の中心支部で、一五〇分会、千八百名の生コン労働者を組織する戦闘的労働組合だ。

幾たびにわたるデッチあげ弾圧・不当逮捕攻撃をはね返して、資本・権力との一貫とした激しい闘いを展開するなかで、産業別協約をかちとり、企業をこえた賃金・労働条件の統一、工業組合を団交当事者とする協定、工業組合の全企業を拘束する画

期的な32項目の協約などの成果をかちとり、組織拡大を実現してきた。こうした関西生コンの闘いは、日経連会長をして、「資本主義の根幹を揺るがす」と言わしめるものであった。

「他人に痛みはわが痛み」をモットーに、「立って闘うなかで新しい社会の枠組みを労働者本位の社会体制に創り変える」ことを呼びかけている。

訂正 11・8全国集会の開催場所は、田二五九号です。